

『タイ日研究ネットワーク Thailand 研究論集』[査読あり]

2021 年 投稿規定

本ネットワークでは、『タイ日研究ネットワーク Thailand 研究論集』を年 1 回発行しています。

1. 関連領域：関連領域は以下の通りです。

- ① タイ・日本及びアジア諸国に関する地域研究領域
- ② 観光学・観光コミュニケーション学に関する研究領域
- ③ 言語学・言語教育学・日本語学・日本語教育学に関する研究領域
- ④ その他、人文学、社会学系

2. 投稿原稿カテゴリー

投稿原稿は、「研究論文」、「実践報告・調査報告」、「研究ノート」の 3 つのカテゴリーに分かれています。

各カテゴリーの定義は以下の通りです。

- (1) 研究論文：研究課題が明確に設定されており、先行研究を踏まえたうえで、研究成果が明確に述べられているもの。
- (2) 実践報告・調査報告：実践及び調査の内容が具体的に述べられており、実践及び調査内容を共有し、意見交換や現場への貢献を目的とするもの。
- (3) 研究ノート：研究課題の提起、将来の研究の基礎として、または中間報告として課題が明確に述べられているもの。

3. 投稿の資格：大学生・大学院生・研究者・教員・その他一般の方からも投稿いただけます。（複数人数可）

4. 使用言語：日本語、タイ語、英語のいずれかとします。

5. 投稿原稿の構成：投稿原稿は、次の項目から構成されるものとします。

- (1) 投稿カテゴリー（「研究論文」、「実践報告・調査報告」、「研究ノート」のいずれか）
- (2) 論文タイトル（本文の主要言語および英語）
- (3) 名前および所属先（主要言語及び英語）
- (4) **要旨（英文：500ワード程度）**
- (5) キーワード（本文の主要言語で、5語以内）
- (6) 本文
- (7) 注(脚注)
- (8) 参考文献・資料一覧

6. 原稿の書式・分量

- A4判横書き、行間は1.15で作成してください。
 - フォントのサイズは明朝10.5ポイント、英語の場合はArial10.5ポイント、タイ語の場合はThai Sarabun New14ポイントで作成してください。
 - 句読点は、日本語の場合は「、」「。」で統一してください（表題も含みます）。
 - 論集は白黒印刷です。図・表・グラフ・写真なども白黒印刷ですので、ご自身で調整をお願いします。
 - 図・表のタイトル表記は自由です。
 - 分量は、いずれのカテゴリーも20ページ以内で作成してください。
-
- 参考文献および脚注の書き方は以下の基準に従ってください。
 1. 論文原稿の最後に章番号をつけて参考文献という見出しをつける。資料を載せる場合は、参考文献の後に資料という見出しをつける。
 2. 参考文献は、日本語による文献と外国語（英語、タイ語など）による文献をそれぞれまとめて、日本語文献、外国語文献の順に記載する。
 3. 日本語文献は五十音順に配列し、外国語文献はアルファベット順に配列する。

[各文献で記載すべき情報は次の通りです。]

1. 単行本の場合：著者、発行年、書名、出版社名

例：海保博之・野村幸正(1983)『漢字情報処理の心理学』教育出版

2. 学術論文の場合：著者、発行年、題名、雑誌名、巻または号、ページ ※外国語文献では、雑誌名はイタリック体にする。

例：渡部倫子(2015)「非漢字圈学習者のための漢字語彙学習ストラテジー尺度の開発」『漢字・日本語教育研究』4号、30-64.

3. 教科書の場合：著者、出版年、教科書名、出版社名

例：佐々木仁子・松本紀子(著) (2015) 『「日本語能力試験」対策 日本語総まとめ N2 漢字』アスク出版

4. インターネット情報の場合：当該情報が記載されているHPなどのアドレス ※資料にアクセスした日付を括弧付きで記載する。

例：『国際交流基金』タイ（2016年度）日本語教育 国・地域別情報

<<https://www.jpf.go.jp/j/project/japanese/survey/area/country/2016/thailand.html>> (2018年1月5日)

7. 投稿の手順

オンライン申し込みおよび査読原稿の送付

応募締め切り：2021年1月31日（日）

- こちらのURLから申し込みをお願いします。

[日本語] <https://forms.gle/b7kPFxH4MDXaUK8MA>

[タイ語] <https://forms.gle/JD5UmeBi4Mu2FdJX9>

- お申込みの際に、「1. 基本情報」と「2. 査読用原稿の情報」をご記入いただきます。

- 「2. 査読用原稿の情報」としてご記入いただく項目は以下のとおりです。

論文題目・研究目的・研究の意義・研究の概要・結果および考察等・参考文献

分量は、すべての項目を合わせてA4判3ページ程度にまとめてください。

8. 問い合わせ先：ご不明な点・ご質問等は以下にお問い合わせください。

タイ日研究ネットワーク Thailand E-mail: network4tj@gmail.com
サイアム大学 大石、高田

例：投稿文の構成

[研究論文]

タイトル（和文）

タイトル（英文）

大石 忍（サイアム大学）

Shinobu Oishi, Siam University

Abstract

英文

500 ワード程度

キーワード：○○、○○、○○、○○、○○

1. 章の見出し

例：投稿文の構成

2. 章の見出し

2.1 節の見出し

2.2 節の見出し

参考文献（記載例）

海保博之・野村幸正(1983)『漢字情報処理の心理学』教育出版

『国際交流基金』 タイ (2016 年度) 日本語教育 国・地域別情報

<<https://www.jpf.go.jp/j/project/japanese/survey/area/country/2016/thailand.html>> (2018 年 1 月 5 日)

佐々木仁子・松本紀子(著) (2015) 『「日本語能力試験」対策 日本語総まとめ N2 漢字』 アスク出版

渡部倫子(2015)「非漢字圏学習者のための漢字語彙学習ストラテジー尺度の開発」『漢字・日本語教育研究』

4 号、30-64.

参考資料